

## 鈴木宗男 異論

品位風格に劣り、人徳に乏しく、やたら威張り散らす単なる政治屋というイメージがつきまとい、国益も考えずに北方領土の部分的奪還に奔走する。で、その過程においていくばくかのキックバックがあつて自らの懐も潤ったに違いないと、「あなたは疑惑のデパートですよ」と疑惑以前に**存在そのものが間違っているようなオネエちゃん**に決め付けられて、そのダメ元は秘書の給料をネコババするような人格で（こいつや！**わずか 10 人のために日朝国交回復が遅れてもいいのか！**などと寝ぼけたことをほざき、日朝国交回復など喜ぶのは社会党だけで、日本に何のメリットももたらさない。日本人を守る日本の議員ではなく、北朝鮮の利益代弁者である。国益も何もあったものではない。）議員を辞めざるを得なかったから、どっちもどっちということで話は有耶無耶におわってしまった。平成 22 年 12 月、鈴木はついに収監され、少なくとも何ヶ月かはくさい飯を与えられ、5 年間は議員に立候補することもできない。しかし、立候補すれば必ず当選するにちがいない。罪状は当初検察が目論でいたものとは違って「微罪」である。・・・役人ならでっち上げも辞さないが、相手が議員だから強引に持っていけなかった。たとえば

小沢。誰が見ても有罪なのに、逮捕すらできない。もし無罪になったら、取調べをした検察官の出世が望めない。木っ端役人根性のひとつの現れ。

元外交官の岡崎某氏がいう、「アフリカ諸国の話を持って行っても誰も（議員の中で）相手にしてくれない。」ところが唯一鈴木宗男「議員」だけが反応をしめしてくれた。日本の国益を考え、世界を相手にするとき、アフリカ諸国との緊密な関係はもはや知らぬ顔をしている場合ではないのである。レア・アースをはじめ、どのような地下資源にめぐまれているかもしれないのである。

ここで表現しているアフリカ諸国とは、先日のジャスミン革命で大揺れに揺れた地中海沿岸の国のことではなく（この辺りはむしろイタリアやスペインなどと同じく地中海性気候に恵まれ、アフリカ諸国には含まない。アフリカとは、サハラ砂漠以南と考えるべきだろう。）

あるとき森喜朗首相が現職として初めて南アフリカ共和国、すなわちアフリカ大陸に上陸した。日本のマスメディアは、「また失言するだろう」という期待のみでくっついていったが、当の南アに住む女性が怒る。「記者たちは、日本人首相のアフリカ大陸への初訪問の

重大な意味を報道しない。まったく、このことの意味を理解していない。」……この連中の頭の中身は空っぽに近い。国辱ものだな。……  
こんなのにジャーナリストなどと自称してほしくない。

宗男さんが、みずからの懐に利益を入れていたとは思いたくないが、そう思われること自体が「不徳の致す」ところであり、そう思われることそのものが恥ずべきことなのである。

さらに問題があり、それは外務省ならずともどこの役所に行っても怒鳴り散らすから役人は戦々兢々としていたという。これも相手が弱ければ居丈高になる資質があるからだろう。しかしながら、役人はそのように怒鳴られなければ仕事をしないのだから、これは鈴木宗男のために弁護したい。……ひとつ提案があるのだが、彼が再び国会議員になって戻ってきたら一度外務大臣に任命してはどうだろう。(法務大臣でもええけど) すくなくとも中身がないことを露呈した角栄の娘なんかよりはるかに国益につながると思うのだが。

で、鈴木宗男が拘留されたら、とりあえずの危機は脱したと手の裏返してソッポをむくのも役人ならでは、である。

今、ビッグコミックに佐藤優原作の「憂国のラスプーチン」が劇画化されている。これを読めば、検察の何が何でも鈴木を犯罪者に

仕立て上げようとする意図が見えてくる。大阪の検察が厚生局長を無理矢理犯罪者に仕立て上げて、しかもそれが事実を自ら改竄したものだということ笑い話にもならない羞恥心のかけらもない仕打ちだったことが判明した。・・・あるいは、鈴木の場合も微罪を大々的に(国民の要望のように見せかけて)取り上げた可能性もでてきた。新聞やマスメディアの取り上げ方に問題があったのかもしれない。

佐藤というのは、まあ、悪人顔でこいつと宗男がつるんだら何か悪いことをしそうな感じを受ける所為かもしれない。

・・・たしかに政治屋というのは利に聡く、亀井某は、神戸の人間が阪神大震災で住むところもないときに、急遽飛んできて「神戸空港は造る」と言った。3%のキックバック欲しさである。さもない限りで、これが政治の余得というなら、そら人相も悪くなるわなあ。河野洋平など、若い頃のまだ意欲に燃えていた青嵐会の頃と比べてみればわかる。中国に媚を売り、台湾に飛行機が不時着したとき一步も外に出なかったと中国要人に「報告」したという。まるで小学生だ。これではまともに相手にされないだろう。格下と思われても仕方がない。今の人相をみよ。悪代官よりひどいで。

話を宗男さんにもどす。収監によって規則正しい生活を送り、贅

沢さえ言わなければ、まあ飢えることもない。古今の書を読むことも可能だろうし、一度自らの言動を省みて直せるところがあれば是正し、清廉潔白の身になれば再び政界で活躍できる日がくるだろう。そういう日がくることを願っている。……ただし、私個人はあんな傲岸不遜を絵に画いたような人格は大嫌いである。(患者にもたまにいますが。)使い分けを上手にすれば、期待できるかも知れない。

**宗男のことだからなあ、はもう要らない。**

アフリカ諸国は長く暗黒大陸と呼ばれ、英仏ベルギー・ポルトガルなどの植民地に甘んじてきた。どこも性質の悪い、搾取しか考えない国で、挙句は奴隷として「売買までした。」今、小さい国が割拠しているが、国家といってもいろんな宗教や文化の違いで内紛状態にあるものもあるし、たとえばルワンダのツチ族とフン族との間の大量虐殺など、いたるところに内紛の種がある。すべてとは断定しないが、貧困が大きな原因のひとつであろう。この地にこそ日本の ODA が必要であり、政情の視察も大事であるが、民間企業と共同で大々的な開発援助を世界に率先しておこなうべきなのである。

(日本のみが奴隷制度のなかった国である。)…… 鈴木宗男の捲土重来に大いに期待したいところである。 2011.02.23.